

コミュニティ

私と人とまちの間に

2020.SEP
125号

9

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

もくじ CONTENTS

FEATURE

エールでつなぐ未来

- 2 捨てればロス、つなげば希望 フードバンク滋賀
- 4 障がいと共に生きる君の未来を NPO法人草津手をつなぐ育成会 よかサポ
- 6 SNSで仕事場紹介! サイコーの笑顔をお届けます 草津商工会議所 青年部
- 8 ご近所まんが くさつがわ家とお隣さん ~これって、みんなの問題~
- 9 より道こ道 烏丸半島
- 10 事業団からのお知らせ/まち語り 一枚の写真
- 11 見つけてスッキリ! 事業団からのお知らせ
- 12 熊谷栄三郎の徒然草津 第37回 マスク、マスク、マスク…
ボイス

楽しみは制限され、人との距離を保ち、マスクで表情を覆う日々。

そんな中でも、エールを送り続けてくれる人たちがいます。

そう、今こそ一人ひとりにエールを送りたい。

あなたにもわたしにも。

信頼を裏切らない

コロナ禍の厳しい状況はこの町工場にも襲いかかりますが、彼は笑顔を絶やしません。サイコーの笑顔の裏には、父から受け継いだ工場、技術、そして確かな信頼を裏切らない強い決意があります。 (詳しくはP7)

写真提供: 草津商工会議所 青年部

半年ぶりの発行、気づけば季節は秋になっていました。うろこ雲・いわし雲・さば雲・ひつじ雲…。空にはチャームリングな名前の雲たちが浮かびます。地上はコロナ禍で大変だけれど、こんな時こそ顔を上げて空を見ませんか。いつかまた、あの日常が戻ってくる日を信じて。

2020 SEP
125号

9

捨てればロス、つなげば希望

フードバンク滋賀 副代表 中村勝人さん(57歳)

あなたの家の冷蔵庫、奥のほうに忘れられている食品は眠っていませんか。そして、それは消費期限が迫っていたりしてませんか。食べ残しや売れ残り、期限が近いといった理由で、まだ食べられるのに捨てられてしまう“食品ロス”は年間約600万トン。これ、国民一人が毎日お茶碗一杯分のご飯を捨てている量なんだとか。(農水省・H29)

そんな一方で、貧困など様々な理由で明日食べるものにも困る人がたくさんいる現実があります。

市場で消費されなかった食品が、“食品ロス”になってしまう前に必要な家庭に届ける「フードバンク滋賀」の活動に注目です。



消費されない食品たち

品質に問題がないのに消費されない食品がある一方で、食べる物に困っている人がいる。なんとも不条理な話ですが現実です。この両極にある2つの問題をつなぎ、どちらも解消に向けていく活動がフードバンクです。話としてはシンプルですが、実際の運営となると大変です。

フードバンク滋賀の活動は週2回。まずは食品を集めることから始まります。スーパーやパン屋さんなど定期的に食品を提供してくれるお店に朝から手分けして引き取りに行きます。賞味・消費期限が近づいた野菜・果物・パンなどが中心なので、午後にはもう配らなくてはなりません。

また、個人の家庭からは缶詰・スナック菓子・シリアル・乾麺などが、お寺さんや農家などからはお米が、企業からは非常用に備蓄されていた水など、ネットなどで活動を知った多くの人の影響で、観光地で売られるはずだった土産品なんかもあったとか。

「スーパーなどでは印字ミス

やパッケージの破損といった理由で市場に出せなかった食品を提供いただきます。もちろん食品自体に何の問題もありません。また、5本入りの茄子の袋があつて、たまたま1本だけが傷んでいても、これまた店頭には出せません。その1本だけを入れ替えればとも思いますが、かえって手間がかかるし、処分するにもコストがかかります。こうした食品が私たちのもとに届きます」

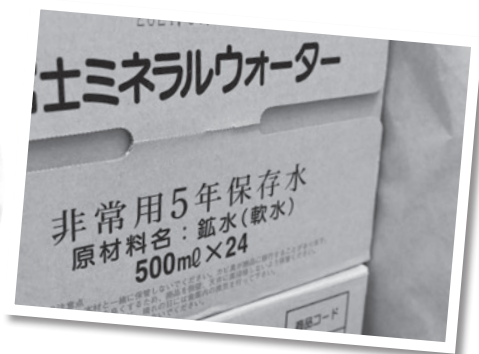
見えにくい問題

食品が集められると、いよいよ配達です。食品を届ける家庭

は湖南地域を中心に、なんと彦根や長浜までと広範囲にわたるとか。一軒分ずつ小分けするのとか、引き取りに行つた車から配達車に直接積み替えます。「大根あるよ」「○○さんの好物だからもらつていく」「パン、そつちまだ残つてる？」「手際よい作業と情報交換。気づけば、どの車も後部座席だけでは収まらず助手席まで食品が埋めつくしています。すぐにそれぞれが担当する家庭へと向かいました。そつ、時間との闘いでもあるのです。

「今の届け先は約60世帯。これを水・土曜に分けて週に一回、





3〜4人のメンバーが自家用車で届けます。食べるものにも困ってしまふ状況の皆さんですから、一軒一軒が特別な事情を抱えています。貧困・雇止め・DV…。理由は様々ですが、どれもデリケートで深い部分に入り込んでしまふ問題で、表には見えてきません。身近な人であっても、なかなか気づくのは難しいでしょう。きつと食糧の支援を必要としている人たちはまだまだおられるはずですよ」と中村さん。

では今、支援を受けている人たちは、この活動をどのように知ったのでしょうか。「SNSなどで私たちの活動を知って直接連絡をくれる人があります。あとは社会福祉協議会や相談されている法律事務所などからの紹介も多いですね。どの方も、我慢に我慢を重ねたギリギリの生活で、ここにたどりつかれます」

私、卒業します

「それでも、依頼があればすぐに支援を始めるわけではありません。電話で事情を聞き、まずは一度だけお届けします。実際にお会いし、暮らしぶりを確認してから支援を継続するかどうかの判断

をします。夫の暴力が原因で対人恐怖症になった女性がいました。彼女は深く心を閉ざし、お伺いしても会話らしい会話はありません。私たちも事情を知っているのに、食品を黙々と届けるだけ。彼女が自ら話しかけてくれるまで1年かかりました」

施設や子ども食堂などに食品を届けるフードバンクの団体もあります。フードバンク滋賀は一軒一軒、家庭を訪問しての手渡しです。それは、施設に行く力すらない人や「助けて」と声を上げられない人を支援したいとの思いから。訪問時の会話や生活ぶりから、必要があれば医療につないだり、届けた際に引越したり子どもの進路など込み入った相談を受けることもあるとか。手渡すことでさりげない見守りになっているのですね。



中村勝人さん



「ようやく働く先が決まりました。やっと支援から卒業できそうです」。利用者が今の状況から脱して自分の力で生活できる「卒業宣言」をしてくれた時が何よりうれしいと中村さん。食べ物ほまさに生きる力、明日への糧。

フードバンク滋賀は食品を届けながら「あなたをいつも見守っています」と今日もエールを送ります。

フードバンク滋賀 ボランティアスタッフ大募集!

フードバンク滋賀では、NPO法人化を目指し、ボランティアスタッフを募集しています。ドライバー大歓迎。運転ができなくても食品の仕分けや記録のサポート、経理やパソコンに強い方もお待ちしております!

フードバンク滋賀 一般社団法人 全国フードバンク推進協議会加盟団体
草津市東草津1-2-35 草津地域福祉事務所 みんなの家 気付

✉ foodbankshiga@gmail.com

☎ 080-3804-4425 (代表 太田)

HP「フードバンク滋賀」で検索

写真：大條紘史(編集ボランティア)



ステイホーム、在宅勤務、一斉休校……。コロナ禍で増えた自宅での時間。「おうち時間」なんて言葉も生まれました。家族との時間が増えることで、絆が深まったり、子どもの成長をふと感じたり、家族で何かにチャレンジしたりと色濃い時間を過ごした人も多いのでは。

一方でストレスを溜めこんでしまい、夫婦げんかや虐待といった悲しいニュースもある中、コロナ禍になる前から、子どもと寄り添って過ごす時間が多い人たちがいます。障がいがある子どもがいる家庭もその一つ。

障がい者とその家族を支援する「NPO法人草津手をつなぐ育成会」の部会の一つ、「よかサポ」をご紹介します。



ひともまちキラリ助成2020年度採択団体

FEATURE

障がいと共に生きる君の未来を

NPO法人草津手をつなぐ育成会 よかサポ

有田佳代さん(52歳)
花岡由美さん(53歳)

求められた余暇の体験

草津手をつなぐ育成会は障がいがある人たちが地元で自分らしく社会生活を送れるよう様々な支援を展開するNPO法人です。その部会の一つ「よかサポ」は、

学齢期の障がい児とその家族の余暇サポートと将来を一緒に考える活動をしています。

余暇とは生活の質を高めてくれる大切なもの。特に子どもの成長にとっては欠かせない時間です。放課後に友だちと遊んだり、休みの日に出かけたり、そうした中で培う経験や体験の中で自然に社会を学んでいきます。

しかし障がい児は余暇経験を自由な場面が少なく、学校以外で自由に友だちと遊ぶこともできません。家族で出かけるにも場所によっては制約を受けることだつて少なくありません。「よかサポ」はそんな障がい児の余暇を親子で充実させるために生まれました。

家と学校以外の世界へ

2013年、よかサポによる夏休みの余暇活動が始まりました。マンパワーや資金の確保といった運営の難しさに直面しながらも親子の活動として、川下りクルーズ、ボウリング、うどんづく

り…と普段なら行くこと自体が負担になったり、周りの目が気になり尻込みしてしまう場所に皆で行こうと様々な企画を行ってきました。

障がい児の兄弟姉妹や幼児期の子も一緒に楽しめるようにと対象も広げました。子どもたちからは「家と学校以外の世界が広がった」「違う学校の友だちと出会えるのが楽しみ」。保護者からも「色々な場所に出かけてチャレンジする体験ができた。本人は集団でのルールを守ろうとしていた」「車イスでこんなところに連れて行けるなんて思ってた」などの感想が寄せられました。どれも嬉しくもあり、考えさせられる問題でもあります。

将来をみんなで考える

そんな「よかサポ」の転機は2015年。新たな制度「放課後等デイサービス」が始まり、わずか3年で事業所が急増します。障がい



有田佳代さん





児の成長や発達を支える「療育」を目的としたサービスで、言わば、障がい児の学童保育。「よかサポ」で新サービスの説明会・学習会を開いた時、保護者は制度や手続きだけでなく障がい児を取り巻く様々な情報を求めていることを知りました。こうして、よかサポでは余暇サポートに加え、様々な勉強会を始めました。当事者や家族だけでなく、みんなが障がい児の将来を考えていくと。

つなぐエール

今では障がいのある人への関心と理解は深まりつつあります。様々な制度やサービスが生まれ

るのもその表れでしょう。

「二人ひとりの障がいや環境が異なる以上、完璧な制度などはありません。変化する制度や手続きへの疑問やとまどい、悩みに少しでも寄り添いたくて学習会を始めました。また、制度だけではなく、生活していく上で生じる悩みにも専門家を招いて講演会をしたり、保護者が集まっての座談会をやったり。座談会では『先輩ママたちの話を聞いて気持ちに楽になった』『何でも話せる人たちに出会えて救われた』といった感想を聞いて、人と人のつながりが安心をもたらしてくれることを改めて感じました」

当事者同士、行政・専門家・関係団体といったつながりをつくることで、安心を生み出す。こんなエールの送り方もあるんですね。

コロナ禍でも、その後も

コロナ禍。これまで以上に子どもと向き合う時間が増えていきます。「こんなに長く子どもと一緒にいたのは今までになかった。怒ってばかりいて虐待になってしまいうそで不安」と打ち明けられた有田さんは、電話で一晩中その人の悩みに寄り添ったとか。「私は逆にコロナ禍で一日中、子

どもと一緒にいて、わが子の特性に改めて気づくこともありました。障がいのある子はものすごくゆるやかな成長をたどりますが、必ずどこかでジャンプする瞬間があるんです。」と花岡さん。

「障がい児の中には基礎疾患や呼吸器をつけている子もいます。そんな家では特に敏感になっています。高齢者のいる家も同じでしょうが、『もしウィルスを持ち込んだら』と思うと怖くて不安になります。このまま、手洗いや感染防止が日常のエチケットとして根づいて欲しいですね」とお二人。

障がい児とその家族を見つめ、環境が変わるたびに寄り添ってきた「よかサポ」は、みんなでの子の将来を考えながら、今日もエールを送り続けます。



津久井やまゆり園の事件(2016年)を受け、全国手をつなぐ育成会連合会では障がい者とその家族に寄り添う姿勢をさらに強めていく方針を発表しました。以来、草津手をつなぐ育成会や所属する「よかサポ」の活動もこれまで以上に個々の家族に寄り添っています。

NPO法人草津手をつなぐ育成会では、障がい者が地域で安心して暮らしていけるよう、当事者同士、行政・専門家・関係団体とのつながりを大切に活動しています。



花岡由美さん

FEATURE

SNSで仕事場紹介！サイコーの笑顔を届けます

草津商工会議所青年部 会長 前田武憲さん(42歳)



今、やれること

このコロナ禍で、青年部でも予定していた事業は軒並み中止です。いや、それ以上に気になるのはコロナで疲弊しながらじつと耐えるメンバーのこと。会長として今年のかじ取り役を任された前田さんは考えていました。

今やれることは何なのか

そうして始めたのがSNSでの会員の仕事場レポート。前田さんが会員の仕事場を訪ね、そのがんばる姿と会員の笑顔を発信します。

「会長の私自身がまだまだあまり知らない会員もいます。会議は夜が多いので、飲食業の人は出られませんがね。私から会いに行くことでつながりを保ちたい、そんな思いもありました」

笑うに笑えないときこそ

6月から仕事場を訪問、2か月で30人を紹介するハイペースです。

「実際に訪ねると、本当にみんな

な苦しい状況にいることを実感します。でも、コロナ禍で必至に耐えているはずなのに、行くとみんなががんばろうと笑顔で話してくれて、逆に勇気をもらいます。笑うに笑えない、こんな時こそ笑顔で乗り越えて欲しい。そしてSNSを見てくれた人も笑顔になって欲しい。『どうせならこんな笑顔の人から買いたい』って思ってもらえるぐらい、サイコーの笑顔を届けたいですね」

それにしても、サイコーの笑顔とくだけた文章の組み合わせがなんとも絶妙です。

「すでに紹介した会員が『取材の仕方や文章がふざけてる』なんて言うもんだから、これから訪れる会員には警戒されてますよ(笑)。でもくだけた紹介の仕方もある。信頼関係があればこそ。私の知る限りのその人の魅力を引き出し、キャラを際立たせることがサイコーの笑顔につながると思っています」

恐れるより、やってみる

会社や店ではリーダーである会員の皆さんにとって、商工会議

所や青年部とはどんなところなのでしょう。

「親の会社を継いで、いきなりリーダーになったりすると、現場や支えてくれる人の苦勞に気づかなかつたりします。ここでは入会順のタテ社会。立ち居ふるまい、言葉遣い、文章力……など、大きな会社の社長さんであっても一から実力と信頼を積み上げ、社会人としての磨きをかけていきます。これはとても大切な経験。また、異業種が集まるというのも大きいですね。同業者ばかりだと常識にとらわれてしまいがちですが、異業種の人からの突拍子もない指摘や視点を変えた意見など、客観的なアドバイスが突破口になることもあります。失敗を恐れるより思い切ってやってみることも時には大切です」

青年部に所属する120人の仕事と笑顔を紹介するのが前田さんの目下の目標です。ちなみに前田さん自身が登場するのは最終回なのだとか。

前田さんは、今日もまた、若き経営者たちにエールを送り続けます。



草津商工会議所

草津市大路2丁目11-51

☎564-5201

青年部(草津YEG)

Facebook





写真：草津商工会議所 青年部 FB（撮影・前田）

表紙の人

(有)フジャ 代表取締役 坂根 佳明さん 41歳

草津商工会議所 青年部所属



父が興した金属加工の町工場で働き出して18年。若い時には「自分ならこうする」なんて思いながら父の背中を見てきました。その父が病気で倒れ、この春から工場を引き継ぐことに。いざ、同じ場所に立ってみて、はじめて父の大きさを知りました。経営者は孤独。資金繰りなどいつも不安の連続ですが、父のそんな素振りを見た記憶がありません。また、大きな支障もなく仕事を引き継げたのは、父が何とはなしに技術を伝えてくれていたおかげだと、ふと気づいた時には感動すら覚えました。

現在は仕入れ・加工から製品として届けるまで、地域密着で仕事をしたいと思っています。

小さな町工場です。大量生産など人件費の安い海外にはかないません。だから、小回りを効かせ「困った」「こんなものがあったら」といった、小さくても切実なニーズに応えていきたい。

父からは「仕事は信頼関係」と言われ続けてきました。今はコロナ禍で営業もまなりません。お客様の声を聞くこともできず歯がゆい思いですが、父が培ってきた信頼を損なうことなく、自分らしいやり方を見つけていきたいですね。

くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。
どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り上げられる
今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。
楽しくも少し考えてしまう。
もしかして…これって、みんなの問題かも。

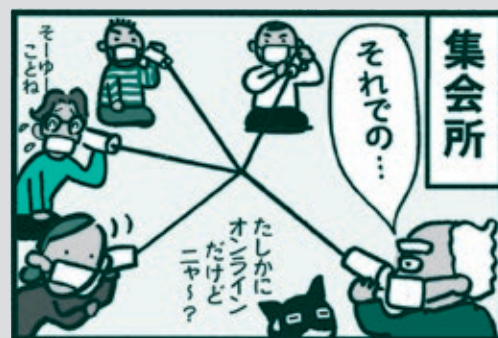


オンライン?

世界中で猛威をふるう新型コロナウイルスは、慣れ親しんできた日常を大きく変え、地域での活動にも影響を与えました。密を避けるため、地域の清掃や夏祭りを取りやめた町内会も多いようです。イベントや行事ばかりではありません。例えば会議。コロナの影響で総会を開けなかったり、初めて書面による総会を行った町内会もあります。そう、皆で意見を出し合いモノゴトを決定していく町内会活動にとって、会議とは重要なものです。これからは「withコロナ」で会議のもち方や意思決定の仕方というものを見直す時期にきているのかもしれない。いやこれは、コロナに限ったことではなく、災害などの非常時にも通じる話でしょう。

もう少し前向きに捉えることもできそうです。例えば、このお話のように(本当の)リモートによる会議ならば、みんなが必ずしも同じ場所に集まる必要はありません。その時間、その場所に来られない人でもリモートでなら参加できる人もいるでしょう。時間や場所を気にせず参加できる機会が増えるので、若い人たちの意見も大いに期待したいところです。会議に参加できる人が増えるほどアイデアは広がり、町内会活動に関わる人が増え、その関わり方自体も柔軟になってくるでしょう。担い手や後継者不足、負担の集中、事業のマンネリ化…と人口減少や高齢化が引き起こす問題に悩む町内会も少なくありません。ここは一つ、逆転の発想でチャレンジしていくのも“あり”かもしれないね。

これってやっぱり、みんなの問題。



さく・com-com / え・まんじゅう

読売新聞

今こそ新聞を読む

読売センター草津西 / 有限会社 雄
〒525-0029 滋賀県草津市下笠町 1306-2 TEL:077-568-1165 FAX:077-568-3205
ホームページは、[読売センター草津西](#)で検索! または、今すぐ右のQRコードにアクセス!

スマイ印刷は、
自然環境を守る地球に優しい
製品づくり「エコ印刷」に
取り組んでいます。

SUMAI

株式会社スマイ印刷 sumaiprint.com

本社:520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2 p:077-552-1045 f:077-552-0890
東京オフィス:103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階 p:03-5201-3525
甲賀水口ファクトリーPF1:528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘36-6 p:0748-63-1045



さあ烏丸半島へと向かいます。この烏丸半島、明治の古地図によれば釣針型をした砂州で「烏丸崎」と呼ばれていました。38 haという広大

みずの森は「植物と人、水と人とのふれあい」をテーマにした、全国でも数少ない水生植物にこだわった公園です。夏には色とりどりのスイレンを写真に収めようと、真剣な眼差しの愛好家たちで賑わいます。残念ながら湖岸の群生ハスは消滅して

メロン街道から烏丸半島へと続く道「夕映え通り」。その名のとおり、湖西の山々に沈む夕日が美しく映え、琵琶湖から吹く風も心地よい秋を迎えます。左手に見えるのは下物観音堂。江戸時代に湖から引き上げられた石の観音様がまつられています。お堂側には市の保護樹木だったクロマツがありましたが枯れてしまい、令和2年の春にとうとう伐採されました。

な埋め立てを行い、平成8年に水生植物公園みずの森と琵琶湖博物館が開館。多くの人が訪れるようになりました。半島の入口にある烏丸記念公園では高さ15mのステンレスアーチに目を奪われます。以前は上から水が流れ落ち、琵琶湖が近畿を潤す様子を現していたのですが、現在は水が止められているので、どうか。点在する石像彫刻はどれもユニークです。

第21回 ● 烏丸半島

からすま

より道 こ道

いつもの道、から一歩それてみる。大人にこそ寄り道の時間が必要だ。

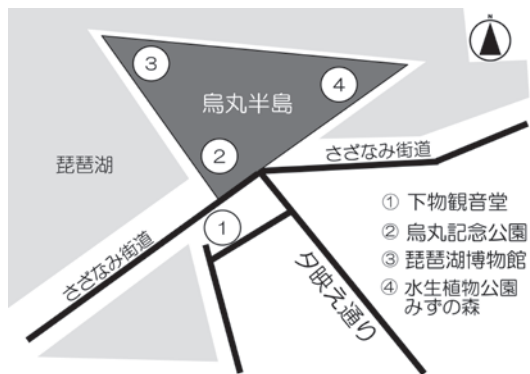
石田はま子

しまいましたが、園内では様々な品種のハスを楽しむことができます。私のお気に入りには芝生広場。イキイキとした花や緑、広々とした青空と琵琶湖、遥かに三上山も望め、ここに来れば晴れやかな気分にしてくれます。

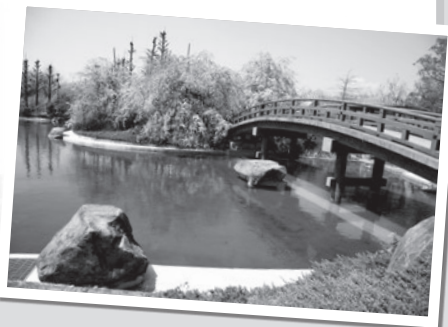
かつて、みずの森の横には風力発電施設「くさつ夢風車」がありました。遠くからでも望める草津の環境シンボルでしたが、平成30年に解体され、今はそのモニュメントを残すのみです。

その年の秋、琵琶湖博物館に新たなスポット「空中散歩道・樹冠トレイル」が生まれました。展望台から眺める琵琶湖大橋、比良山系・長命寺山の雄大な風景に「滋賀っていい、草津っていい！」とつくづく思います。

この秋は烏丸半島で湖面からの風、木々や花々の香り、水辺に暮らす鳥たちの様子など自然を満喫してください。



写真：大條紘史（編集ボランティア）▶



ひとりで悩まないで！まずはお電話を！
くらしサポートセンターしが草津がお手伝いします



くらしサポートセンターしが草津
くらし何でも相談
TEL:077-564-5512

住所：草津市大路1丁目1-1 TEL:032-4F406

電話がかかりにくい場合はこちらへ センターへの相談は無料です

滋賀県労働者福祉協議会くらしサポートセンターしが内
0120-783-455（くらし何でも相談専用）



株式会社 三井田商事

経営理念 迅速・確実・親切

弊社は2019年度からSDGsへの取組をスタートさせ、それを基盤にして社会貢献を通じて地域から愛される企業に成長していきます。清掃活動等で弊社社員は地域の皆様に大きな声で挨拶をします。

また、弊社は56周年を迎え、改めて今後も永続的に地域の皆様と共に成長していきたいと考えております。

滋賀営業所／〒525-0050 滋賀県草津市南草津2丁目7-16
TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651



活動助成

募集

あなたの一步、応援宣言。

初めてのチャレンジ“はじめの” いっぱと、
ステップアップの“そのさき” いっぱ。
2つの助成で皆さんの活動を応援します。

募集 10月20日(火) 必着

- “はじめの” いっぱ 上限3団体(1年目 5万円 2年目 10万円)
- “そのさき” いっぱ 上限3団体(1年間 20万円)

申込 提案書は市内の公共施設に
備え付けているほか、HPから
もダウンロードできます。



問合せ

(公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興グループ
草津市西大路町9番6号
☎ 565-0477 ☎ 562-9340
HP まちサポ <http://kusatsu-spp.net>

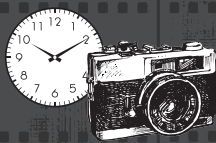
前回の答え



たくさんの
ご応募ありがとうございました。

※ご応募いただいた内容は、
プレゼントの発送および
今後の誌面づくりに活用
し、それ以外の目的で個
人情報を使用することは
ありません。

まち語り 一枚の写真



まちのあらゆる場面で培われてきたコミュニティの形。
その一瞬を捉えた一枚の写真から、これから、のコミュ
ニティを見つめます。

今年の春、草津駅東口に「アトラスタワー草津」*が完成し、駅前にはまた大きく姿
を変えました。かつて、この辺りには多くの商店が立ち並び、草津随一の商業集積を誇り
ました。写真は昭和29年(1954)ごろの栄町商店街の様子です。写真右側が今「アトラ
スタワー草津」が建っている場所、通りを挟んだ写真左側が「リーデンスタワー草津
Tower111」*の場所になります。写真奥へ向かうのが栄町商店街で、手前が交差点に
なっています。左右に自転車走っている道が中山道です。

昭和初期には、この辺りに商店が立地していましたが、戦後になって栄町商店街と
して組織されました。昭和40年(1965)の通行量調査では、この栄町商店街が草津市
の最大通行量を誇っています。栄町商店街がこれだけの通行量があった理由のひとつ
に、昭和37年(1962)に開店した「主婦の店ひかり屋」があります。まだ個人商店が
多かった時代に、スーパーマーケットに近い形態を持つ「主婦の店ひかり屋」は多くの買い物客で賑わいました。

この頃までは小売商店が中心であったものが、その後、スーパーマーケットのような大型商店が増え、平成以降は郊外型の大型
ショッピングセンターができるなど、草津市民の生活様式は変化していきます。これに伴い、駅前の商業形態にも変化が見られ、かつ
て物販の中心であった駅前に、現在では飲食店が立ち並んでいます。

その姿を大きく変えた栄町商店街ですが、その歴史は草津の商業形態の変化の歴史でもあります。

*どちらも飲食店等がテナントとして入る高層マンション

ロクハ荘 秋の催し

長寿の郷ロクハ荘
☎ 563-5021

ロクハ
公園

アウトドアクッキングと 外遊び

食を通じた異文化交流と炭づくり体験・けん玉遊び

10/11(日) 10:00~13:30

料金 大人700円/小学生以下300円

対象 子どもとその家族

定員 12組



簡単美味しいおうちパン

ロクハ荘



卵、バターを使わない
アレルギー対応パンを美味しく楽しく

10/16(金)・11/19(木) 全2回

10:00~13:00

料金 1,000円

定員 5人

ロクハ
公園

キッズと保護者の公園セサピー

ロクハ公園の自然の中で体も心もリフレッシュ

10/20(火) 11:00~12:00

料金 100円

対象 未就園児と保護者

定員 10組



自然の色の不思議 草木染

なごみの郷
工房



自然素材で染める私だけのスカーフ

10/23(金) 10:00~13:00

料金 1500円

定員 10人

変わりゆく駅前 栄町商店街



文・草津宿街道交流館



米・野菜・果物・木の実にきのこ…。

さぁ実りの秋、そして食欲の秋です。掘り起こしたさつまいもに子どもたちの歓声が上がります。

焼いも？ スイートポテト？ おかずでもスイーツでも重宝するさつまいもが旬を迎えます。

下のイラストには上のイラストとちがう部分が5か所あります。ちがう部分を答えてね。

応募方法

ハガキに①答え②住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えて下記まで。

FAX、メールでのご応募もお待ちしています。

必着 9月30日(水)

宛先 〒525-0037 草津市西大路町9番6号
(公財)草津市コミュニティ事業団
「コミュニティくさつ9月号」係
✉ com-com@mx.biwa.ne.jp
☎ 562-9340

プレゼント

応募いただいた中から草津川跡地公園内クサツココリバの3店舗でのいずれかで利用できる優待券(1000円相当)を5名様にプレゼント。



- ・サルティンボッカ
- ・サンデーベイクリバーガーデン
- ・カルド草津滋賀



イラスト：大村恵(編集ボランティア)

クレア劇場2020 おばけのアッチ

リーディングミュージカル

11月8日(日) ①12:30開演 ②15:30開演

草津クレアホール

全席指定 3,500円

問合せ 草津アートセンター(草津クレアホール内)

☎561-6100



熊谷栄三郎の
徒然草津
つれづれくさつ

第37回
マスク、

マスク、
マスク…

熊谷栄三郎



マスク、マスク、マスク…。コロナ禍の近ごろ、世の中、どうなったんだろう。右を見ても左を見ても、マスクが歩いている。マスク同士がしゃべっている。マスクが買い物をしている。マスクが自転車に乗っている。

自動車の中でさえ、マスクが一人、すまし顔でハンドルを握っていたりする。昨日なんぞ、マスクが配達に来て、ほとんどしゃべらず荷物を玄関に置いて行つた。八十年間を生きてきて、こんな光景は見た記憶がないような…。いや待てよ、なんか思い出しそうな気がする。

そうだ、終戦前の五歳の頃だった。丹波の田舎町にも「空襲警報」という言葉が飛びかつていた。夜は戸外へ光が漏れぬよう電球を布で覆うなど注意をはらっていた。

そんな日。裁縫をしていた母親が「はい、出来た。防空頭巾や」とと不格好な頭巾を渡してくれた。たしか、座布団を丸めたような、頭全体を覆う被り物。「飛行機が空襲に来たらそれを被るんや。被ってへんと大怪我

する。みんなに迷惑もかけるしな」と母は言った。友達に会うと、多くがそんな頭巾を被っていたような記憶。他人と同じように振る舞わなければダメ、という空気を大人も子供も感じていたらしい。マスク全盛の今の世となんか似ている。

さて、数カ月前、スーパーなどを歩き、やっとマスクを買えた。私はマスクは顔に付ける住民票だ、と思うようになっていた。

それから妙な癖が身に付いた。店などで、マスクをつまみ住民票を付けていない客を見つけたら、数えて遊ぶようになったのだ。

ある日のこと、二人までは見つけたが三人目がまだだった。十分後、ついに目の前で見つけた。思わず、小さくバンザイをした。すると、なんとその三人目もバンザイをした。よく見ると、それは柱に取り付けられた鏡に映る私だった。私はマスクを首の辺まで下げていたので、顔が丸出した。

読者の声

たくさんのご意見
ありがとうございます。

3/15号「あしたへ、芽ぶく。」に寄せられた感想から

- やんちゃ寺、こんなお寺が増えればやさしい世の中になっていくだろうと思います。
- やんちゃ寺はすばらしい取り組み。いつか私もお手伝いしてみたい。
- やんちゃ寺の記事に興味深く読みました。ありのままの自分になれる居場所、すてきです。佐藤さんの言葉もすてきです。
- 将太郎クラブ 小さいころからやっていると覚えも早いし強くなりますね。将来、有名な人が出るかも。
- 子どものころ、夏に川で泳いだ後に寺で将棋をしていたことを思い出し、なつかしく思った。
- おとのわのママさんたち、子育て応援の場にもなっているのはいいですね。すてきな仲間になると思います。ガンバッテ!!
- 「一枚の写真」が印象に残りました。草津に住み22年になるけれど、主人と「えーっ」という話になり会話も増え良かったです。
- 子どものころ家に競走馬が泊まりに来ていて、競馬場まで馬に乗せてもらった記憶がよみがえりました。

「コミュニティくさつ」は、
みんなでつくる
まちづくり情報誌です!

市民編集ボランティア

「コミュニティくさつ」は市民の皆さんと共に作成発行しています。本誌の企画、取材、寄稿、配布などを一緒にしてもらえ市民編集ボランティアを募集しています。写真やイラストが得意な方も大歓迎。

- 編集会議(3か月に1回)で意見を出してくれる人
- 取材同行や寄稿をしてくれる人
- 写真やイラストを提供してくれる人
- 自身のサークルや団体メンバーに本誌を配布してくれる人



● 申込み・問合せ ●

(公財)草津市コミュニティ事業団
コミュニティくさつ編集部(まちづくり振興グループ内)

ポイント

施設を利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

わたしの
ヒーロー
ヒロイン



ロクハ荘

クレアホール

アミカホール

まちセン

ロクハ公園

「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費縮減などで得る独自の収益金のほか草津市からの補助、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかっています。

